

社会資本総合整備計画（事後評価書）

令和3年3月4日

計画の名称	19 鈴鹿PAスマートICへのアクセスによる広域的な道路ネットワークの強化と地域間交流や産業の振興を支援する基盤整備（ICアクセス関連）						重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）			交付対象	鈴鹿市							
計画の目標	鈴鹿PAスマートICの整備に合わせたICアクセス道路の整備を実施することにより、周辺道路の利便性の向上や安全性を確保するとともに、道路ネットワークを強化し、産業・観光の活発な展開や地域の活性化を図る。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ICアクセス道路における大型車のすれ違い支障地点の解消を図る。 スマートICを設置することにより椿大神社への観光客入込数（年間）を増加させる。 											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考			
							当初現況値 (H26当初)	最終目標値 (H30末)				
ICアクセス道路における大型車のすれ違い支障地点数							2	0				
椿大神社への観光客入込数（年間）の増加率							0%	5%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	452 百万円	A	440 百万円	B	0 百万円	C	12 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	2.7%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		
○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期	令和3年3月
交付対象市において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	公表の方法	市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30				
19-A1	道路	一般	鈴鹿市	直接		市町村道	改築	(他) 山本172号線	現道拡幅 L=1.36km	鈴鹿市						440	—	—	
合計														440					
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
										H26	H27	H28	H29	H30					
合計														0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
										H26	H27	H28	H29	H30					
19-C1	計画検討	一般	鈴鹿市	直接		計画・調査	新名神スマートインターチェンジ利活用計画策定業務	スマートIC利活用計画策定	鈴鹿市						12				
合計														12					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			
19-C1	基幹事業である山本172号線（19-A1）と一体的に実施することにより、スマートICの利用向上や基幹事業であるアクセス道路の利用促進とともに地域の活性化を図ることができる。																		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		消防道路の大型車のすれ違い支障地点である橋梁(2箇所)の拡幅を行い交通の安全性を確保した。また、鈴鹿PAスマートICを開通することにより、椿大社神社等の西部地域を始めとする観光による活性化が図られ、観光客数の増加につながった。									
II 定量的指標の達成状況	指標① (ICアクセス道路における大型車のすれ違い支障地点数)	最終目標値	0 箇所	目標値と実績値に差が出た要因	橋梁の拡幅を行ったことにより、大型車のすれ違い支障地点が無くなったため、目標を達成した。 鈴鹿PAスマートICが開通したことにより、椿大神社への観光客が増加したため、実績値が目標値を上回った。						
		最終実績値	0 箇所								
	指標② (椿大神社への観光客入込数(年間)の増加率)	最終目標値	5 %	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	7 %								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		鈴鹿PAスマートIC周辺土地区画整理事業により、工業団地を造成するなど、地域の活性化に寄与している。									

3. 特記事項 (今後の方針等)

鈴鹿PAスマートIC周辺では、今後も地域の産業・観光の活発な展開を図るため、引き続き周辺道路の計画的な整備推進を図る。										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--